

大牟田市立歴木中学校

1 本校のESDの特徴

本校では福祉教育（福祉体験）を通して高齢者や支援を必要とする人々との共生のあり方を考え、自分にできるところから実践できる生徒の育成をめざし、取り組んでいます。

子どもたちは学習を進めていく中で「考え」たり「感じ」たりしたことから課題を見つけ、班目標、個人目標を設定し、実践につなげることを目標としています。また、共に活動することで、思いや願いを共有し、地域や高齢者の方々に対する自分の新たなスタンスを発見できるようにすることを目指しています。



2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

【福祉体験学習】（1年）

- 福祉体験学習オリエンテーション（9月18日）
 - ・福祉体験学習に向けて、目的、内容、日程、マナーを学ぶ。
- 高齢者疑似体験学習（10月8日）
 - ・高齢者や障害を持った方々の不自由さを疑似体験し、支援を求めている人の気持ちに近づき、考えることで、自分の心の持ち方や、高齢者の方への接し方などについて学ぶ。
- 高齢者福祉について学ぼう（10月21日）
 - ・講師の大谷先生（グループホームふぁみりえ ホーム長）から認知症や大牟田市の取りくみなどについて学ぶ。
- 福祉体験学習事前打ち合わせ（10月23日）
 - ・グループごとに市内の福祉施設での打ち合わせを行う。
- 福祉体験学習（11月4/5日）2日間
 - ・市内の福祉施設12カ所での体験学習を行う。
- 学習のまとめ（11月4日）
 - ・これまでの学習内容をグループごとにまとめ、体験学習発表会を土曜参観授業で行う。



3 特徴的な活動事例

高齢者及び認知症についての正しい知識と理解を深める取りくみ（1年生）	
目標	○高齢者疑似体験や高齢者福祉講話学習を通して、相手の気持ちを考えようとする態度を養う。 ○相手が支援を必要としていることを理解し、実践につなげる意思を持つ。
実践	①疑似体験装具をつけ、高齢者の方々がどのような状態で過ごされているかを体験することで、相手の気持ちを考える力やコミュニケーション能力が必要であることを理解するようにした。
展開	②「高齢者及び認知症」について考え、高齢者の方の様子や大牟田の町作りの現状などの話を聞き、自分にできることは何かを考えるようにした。
生徒の感想	①高齢者疑似体験では、高齢者の歩く大変さがよく分かりました。福祉体験では、おばあちゃん達がどんなりハビリをしているのか、介護師の方が普段どんなことをしているのかが分かり、とても勉強になりました。これからは、福祉で学んできた「相手の気持ちを思いながら話す」など、いろんな工夫をしていきたいと思えます。 ②初めて行ったけれどみんなと役割分担をしっかりと、おばあちゃん達と交流することができました。いい体験になったし、いい思い出になったので良かったです。今回の体験をこれからの学校生活に生かしていきたいです。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・子どもたちは全体的に明るく活動することができた。人間のいろいろな姿を受け入れることができたと思われる。「喜んでもらう」「楽しい時間を共に過ごす」ことに手応えがあった。
- ・まとめの発表がグループで分担してできた。



○課題

- ・グループによっては、高齢者の方々とどう接したらいいのか分からず、生徒同士で集まっておしゃべりをしていたという報告があった。グループごとの目標や子どもたちそれぞれの目標をしっかりと認識させる必要があった。
- ・土曜授業での発表会は、行事の内容に集中しやすく、保護者の参観もあり、子どもたちのモチベーションも高まっていたので、続けていきたい。